

普連土学園校友会報



No. 115

発行責任者：進藤 玲子
令和8年(2026年)7月31日

目次

校友会総会	2
【特集】ありがとう体育館・高3校舎	4
ホームカミング・新任幹事紹介・ミニ講座開催報告	6
普連土だより・関西フレンド会報告	7
田中良子先生を偲ぶ	8

普連土学園と 私学の「今」

普連土学園広報部長

池田 雄史



2026年2月28日に開催された第8回ホームカミングにおいて、「普連土学園の今」という標題で学園の現況を主に広報活動の視点から報告いたしました。その時に出席されていた卒業生の中には、卒業後初めて母校を訪れ、最新の情報に触れた方もいらしたようです。そのような方々にとっては、お伝えした学園の近況には驚くことも多々あるようでした。例えば、コロナの影響が大

修も計画されています。細かな所では、校服にチェックのオプションスカートやストラップスがあることに学園の変化を感じたという方もいらっしゃいました。

方落ち着いた3年前より、海外研修の行き先が一気に広がりました。従来のイギリス研修に加え、カンボジア地雷撤去活動の視察研修、アメリカ東海岸の英語研修プログラム、ニュージーランドのチーム留学が新たに始まり、さらには本校と同じフレンド派のアーラム大学での短期研

私が広報部長を拝命してから15年が経ちますが、その間私学を取り巻く状況は年々厳しくなっています。当時は歴史・伝統ともに申し分のない進学校として上位にあった女子校が、少しずつランクが下がって来ているなど思いつつ見ていると、ある年に突然急落してしまうといったことが当たり前に起きています。その他にも、毎年何件も報じられる男女別学校の共学化や他の学校法人への経営権の移譲等に関するニュースは、私学運営の厳しさを強く実感させます。一方で、それとは逆の動き

を見せる学校もあります。わずかな数年のうちに学校の偏差値を急上昇させ、人気校の仲間入りを果たす学校です。では、この二つの動きを分けるものは何なのか——それは「変化する力」だと思われます。現在40歳前後である今の中学受験生保護者は、学校の歴史や伝統よりも「我が子にどのような教育環境を与えてくれるか」を重要視していると言われます。ここではその視点の賛否は問いませんが、実際問題として歴史や伝統にこだわりが強すぎる学校は回避されるという傾向があるのです。大切な歴史や伝統を残すためには、逆説的にその歴史や伝統を一部「破壊」しなければならぬ時もあるということです。本当に残さなければならぬ普連土学園の本質を見極めつつ、時には思い切った策をもって学園をより魅力的に発信できるような広報活動を目指したいと思います。



カンボジアの子どもたちと

2026年度 校友会総会

5月30日(土) 11時～12時30分
新渡戸稲造ホール(講堂)
出席者 70名

奏楽 酒井 恵生
開会礼拝 会長 進藤 玲子
讃美歌 234A番 旧約聖書「コヘレトの言葉」
聖書 第4章9節
司会 副会長 笹岡 香代子

2026年度の校友会総会は5月30日(土)、学園の講堂にて開催。提出された議案は全て、承認・可決されました。

普連土学園理事長挨拶 山本 将人
創立150周年に向けての記念事業を進める中、来年春に体育館と高三校舎が解体され、「140周年記念館」の建設が始まります。体育館・特別教室・セミナー室などを完備する記念館は、教育理念とする「対話」を育む学びの場となる予定です。記念館建設の実現に向けて、校友会の皆様方からの温かいご支援を心よりお願い致します。(欠席のため、会長が代読)

普連土学園理事挨拶 畠中 ルイザ

92・93・94回生のホームカミングに参加しました。校友生たちは旧友との再会を楽しみながら、青木校長と広報の池田先生による学園の近況について熱心に耳を傾けていました。ホームカミングは、友人そして学園とのつながりを深めることのできる貴重な機会です。より多くの校友生にホームカミングのことを知っていただけたらと思います。

学事報告 校長 青木 直人

少子化が進む中、私学には時代の変化により柔軟に対応することが求められています。本学園でも、海外研修の充実や、一クラスの人数を35人に減らして4クラス制とする少人数教育の推進など、新たな挑戦を続けています。また、140周年記念館建設には、生徒たちも参加しています。在校生による「学校づくりパートナー」(在校生23名・うち14名が高校生)というチームが発足。完成を待たずに卒業する生徒たちも含め、その声や想いが新校舎に受け継がれていくことを期待しています。

事務会議事

- ・2025年度年次報告 副会長 笹岡香代子
- ・2025年度会計決算報告 会計 小松 弘美
- ・2025年度会計監査報告 会計監査 谷川理美子
- ・2026年度年次計画 副会長 笹岡香代子
- ・2026年度会計予算 会計 小松 弘美
- ・役員改選 指名委員長 富山 恵子
- ・委員会紹介 会長 進藤 玲子
- ・同好会紹介 会長 進藤 玲子
- ・2026年度新幹事(133回生)紹介 会長 進藤 玲子

2026 年度役員

役職	氏名	回生
会長	進藤 玲子	89
副会長	寺山 由美子	82
副会長	笹岡 香代子	93
書記	平山 浩美	87
書記	高山 みなこ	90 新任
書記	小倉 晴子	92
会計	小松 弘美	95
監事	石川 文子	79 再任
監事	谷川 理美子	86
書記	片倉 三絵子	91 退任

活動内容		2025 年度 年次報告		2026 年度 年次計画	
		日程	概要	日程	概要
総会	礼拝、事務会、講演、コーラスの会発表	2025年 5月31日	ローズホール	2026年 5月30日	新渡戸稲造ホール
校友会バザー		2025年11月16日	ローズホール他	2026年11月22日	ローズホール他
クリスマス礼拝	礼拝、礼拝後懇親会	2025年12月 6日	A音楽室、ローズホール	2026年12月5日	A音楽室、ローズホール
出版	会報発行	2025年 7月	113号	2026年 7月	115号
		2026年 2月	114号	2027年 2月	116号
お祝い贈呈	新入生に校章入りタオル	2025年 4月	138回生	2026年 4月	139回生
	傘寿祝に記念品	2025年 9月	70回生	2026年 9月	71回生
	卒業生に小楳紗	2026年 3月	133回生	2027年 3月	134回生

普連士学園校友会 2025 年度収支決算書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

■収入の部		(単位:円)	
科 目	予算金額	決算金額	備 考
在校生会費収入	4,200,000	4,559,000	高校生校友会費 (379.9 名)
卒業生運営費収入	5,000,000	4,945,000	校友生納入分 (¥2,500×1,978 口)
バザー 収入	1,000,000	1,429,430	幹事会時献金 他
奉仕活動協力金収入	100,000	130,248	クリスマス献金収入
クリスマス献金収入	0	54,420	校章入りタオル、絵ハガキ売上
寄 付 金 収入	0	0	預金利息
雑 収 入	0	63,180	133 回生成人祝会準備金
受 取 利 息	2,000	8,346	
預 り 金	0	300,000	
収 入 計	10,302,000	11,489,624	
■支出の部		(単位:円)	
科 目	予算金額	決算金額	備 考
総 会 費	100,000	43,813	会場生花代 講演会講師謝礼
諸 会 費	100,000	85,284	幹事会お茶菓子代 他
人 件 費	1,200,000	988,240	事務局人件費
委員会活動費	220,000	96,379	
ホームカミング費	0	0	
通信費	2,000,000	2,195,029	会報 113 号・114 号、総会案内 他
印刷費	900,000	870,073	会報 113 号・114 号、総会案内 他
消耗品費	200,000	113,989	事務用品 他
交 通 費	400,000	277,122	電話料、ネット回線使用料
電 話 料	300,000	275,884	卒業祝、花とみどりのギフト券代 他
慶 弔 費	600,000	520,035	関西支部
支部連絡費	60,000	60,000	バザー販売品仕入れ
バザー関連費	600,000	481,465	お花代・懇親会費用、講師謝礼 他
クリスマス礼拝	150,000	147,271	女性の家HELP、チャイルドファンドジャパン寄付金
奉仕活動費	200,000	200,000	クリスマス献金
学園宗教委員会への献金	0	54,420	
同好会補助費	187,300	144,630	
支払手数料	450,000	374,301	運営費の振込手数料 他
同好会補助費	200,000	98,700	校友会ホームページ作成・更新料
ホームページ関連費	800,000	718,425	機器リース及び保守代
リース料	20,000	0	
雑 収 入	500,000	531,392	
校友会グッズ	0	0	
基本金積立	6,000,000	1,000,000	校友会活動維持のため※ 2026.4.22 特別会計基本金積立へ 5,000,000 円振替済み
特別積立	2,000,000	2,000,000	学園への寄付積立
予 備 費	500,000	0	源泉徴収税前払い金
前 払 い	0	129	
支 出 計	17,687,300	11,276,581	
差引額(収入-支出)	△ 7,385,300	213,043	
前年度繰越金	11,194,972	11,194,972	
次年度繰越金	3,809,672	11,408,015	

会計監査の結果、適正であることを報告いたします。

2026 年 4 月 21 日

監事 石 川 文 子 印

監事 谷 川 理 美 子 印

2025 年度特別会計収支決算書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
●基本金積立			
前年度繰越金	29,590,471		
経常費より	1,000,000		
利 息	48,943	次年度繰越金	30,639,414
合 計	30,639,414	合 計	30,639,414
●特別積立			
前年度繰越金	28,494,983		
経常費より	2,000,000		
利 息	47,112	次年度繰越金	30,542,095
合 計	30,542,095	合 計	30,542,095
●特別積立(奨学金積立)			
前年度繰越金	14,986,744		
奨学金返済	0	次年度繰越金	14,986,744
合 計	14,986,744	合 計	14,986,744

※ 1 経常費より 5,000,000 円振替のため、4/22 残高 35,639,414 円

※ 2 奨学金積立より 14,986,744 円振替のため、4/23 残高 45,528,839 円

※ 3 4/23 特別積立へ全額振替済み、残高 0 円



▼コーラの会
「聖坂 Friends」
による合唱発表もありました。最後は、出席者と共に校歌を歌いました。

普連士学園校友会 2026 年度予算書

(2026年4月1日～2027年3月31日)

■収入の部		(単位:円)	
科 目	予算金額	備 考	
在校生会費収入	4,200,000	高校生校友会費 350 名	
卒業生運営費収入	5,000,000	校友生納入分 ¥2,500 × 2,000 口	
バザー 収入	1,000,000	幹事会時献金 他	
奉仕活動協力金収入	100,000		
クリスマス献金収入	0		
寄 付 金 収入	0		
雑 収 入	0	校章入りタオル・コピー・タックシール・施設使用料 他	
受 取 利 息	8,000	預金利息	
預 り 金	300,000	134 回生成人祝会準備金	
収 入 計	10,308,000		
前年度繰越金	11,408,015		
合 計	21,716,015		
■支出の部		(単位:円)	
科 目	予算金額	備 考	
総 会 費	100,000	会場設営費 他	
諸 会 費	100,000	幹事会お茶菓子代 他	
人 件 費	1,200,000	事務局手当 他	
委員会活動費	210,000		
ホームカミング費	0		
通信費	2,500,000	会報 115 号・116 号、総会案内 他	
印刷費	1,200,000	会報 115 号・116 号、総会案内 他	
消耗品費	200,000	事務用品 他	
交 通 費	400,000		
電 話 料	300,000	電話、ネット回線使用料	
慶 弔 費	600,000	卒業祝、花とみどりのギフト券代 他	
支部連絡費	60,000	関西支部	
バザー関連費	600,000	バザー販売品仕入れ	
クリスマス礼拝	150,000	お花代・懇親会費用、講師謝礼 他	
奉仕活動費	200,000	女性の家 HELP、チャイルドファンドジャパン寄付金	
学園宗教委員会への献金	0	クリスマス献金	
同好会補助費	149,600		
支払手数料	450,000	運営費の振込手数料 他	
ホームページ関連費	200,000	校友会ホームページ作成・更新料	
リース料	800,000	機器リース及び保守代	
雑 収 入	20,000		
校友会グッズ	100,000		
基本金積立	6,000,000	校友会活動維持のため	
特別積立	2,000,000	学園への寄付積立	
予 備 費	500,000		
支 出 計	18,039,609		
次年度繰越金	3,676,406		
合 計	21,716,015		

2026 年度特別会計予算書

(2026年4月1日～2027年3月31日)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
●基本金積立			
前年度繰越金	30,639,414		
経常費より	6,000,000		
利 息	50,000	次年度繰越金	36,689,414
合 計	36,689,414	合 計	36,689,414
●特別積立			
前年度繰越金	30,542,095		
経常費より	2,000,000		
奨学金積立より	14,986,744		
利 息	50,000	次年度繰越金	47,578,839
合 計	47,578,839	合 計	47,578,839

▼総会事務会終了後、129 回生の佐々木麻衣さんによる特別講演「知られざるフグの世界」が行われました。
東京海洋大学
大学院で、フランクton の遺伝子組み換え技術開発の研究にあたる佐々木さん。フグの毒とは？なぜ、どのように体を膨らませるのか？
普連士生時代から追い続ける「フグ」への愛と、その不思議な生態についてお話しいたしました。



体育館

起工式:1974(昭和49)年7月
献堂式:1975(昭和50)年3月
設計:大江宏建築事務所
施工:竹中工務店

私達 83 回生は、昭和 23 年 10 月に落成した戦後復興した最初の木造校舎が、中 1 から高 2 まで体育の授業を受けた私達の体育館でした。歴史の重みでしょうか、実に味のある建物で、その古くて簡素な体育館で小池幸先生や斉藤先生のお授業を受けた思い出はたくさんあります。そして、その

校舎が壊された時の寂しさを覚えています。昭和 50 年 3 月、高 3 になる時に新しい現在の体育館が落成しました。新しい体育館については、ピカピカで広々として嬉しかったことしか私の友人達も私も覚えていないのです。(83) / 中学入学当初の体育は「雨天体育場」? というような木造の平屋での授業。ほどなく完成した「体育館」はレンガ造りで球技のできるコートが整備されていたので、衝撃を受けました。(87) / 演劇班だった私は、大道具や小道具、衣装の置き場とされていた倉庫に足繁く通っていました。舞台の出来上りを想像しながら楽しい時間を過ごしていました。(87) / 新しい体育館で当時大流行のピンクレディーの曲を友達と二人、振り付けも覚えて同級生の前で歌った記憶が蘇ります。勝手にマイクを使用してのショータイム、先生からお叱りを受けた事も今となっては懐かしい思い出です。(87) / 私が入学した当初は歴史を感じさせる木造平屋建ての小さな体育館でした。新しい体育館はレンガの外壁でその瀟洒な佇まいに感動したのを覚えています。中もとても広く、部活の練習試合もする事が出来る様になりました。ただ今では当たり前の冷房設備が無く、夏は窓全開でした。コーチの先生に楯を飛ばされながらも必死にコートを駆け回った青春の思い出が詰まった体育館です(87) / 体育館と言えば小池先生のタンバリンです。タン、タタンのリズムは忘れられないです。そして左右で違う拍子で動かす腕の運動は上手くてできなくて、最後まで残っていた記憶があります。スポーツ大会も楽しかったですね。(91) / 体育館といえば、小池先生のヒールトォーやマット運動、そしてラジオ体操! あそこで何度太ももを叩かれたことか。それも今となっては良い思い出。(95) / 体育館でお手玉のテストがあったのが忘れられない思い出です。「できた人から座ってよし!」の一言にドキドキ。今では、学童クラブ、保育園などの職場で「すごい! 先生」と言われる得意ワザになりました。(95) / 体育の授業とは? 入学早々考えさせられた。ラジオ体操一色だった一年間。小池先生の「はい、指の先 1 ミリ伸ばして!」という怒りが響き渡る。あの頃の私たちは、世界で一番美しい「腕を前から上にあげて大きく背伸びする運動」を追求していた。今なら言える。あの体育館は、私たちの関節の故郷だと。(95) / 小体育館での小池先生のオークダンスと、家庭科で作ったお手玉を使った体育の授業が懐かしいです。テスト前の自主練で、お手玉一つが体育館の梁の上へ! 落とそうとして投げたもう一つも見事に梁の上へ! 解体したら、私のヴィンテージお手玉が 2 つ発掘されるかもしれません(笑) (106) / 体育館は、体育祭に向けてシリアンタラテラなどの練習をしたことや、卒業の謝恩会の準備をしたことが思い出深いです。今までありがとう! (112) / 体育館は壁に寄りかかると体操着が茶色くなったり、冷房がきく小体育館での授業だと嬉しかったり、更衣室に香る制汗剤でちょっぴりむせたり…懐かしい思い出がいっぱいです。(114) / 暇潰しに体育館倉庫を物色していた際に、挟まっていたバドミントンの球を取り出そうと力任せに引っ張ったら羽が全て抜けてしまいました。それを何食わぬ顔で箱に戻しました。バドミントン部ごめんない。(128) / 6 年間部活で使った思い出の場所です。体力測定で部員がボール投げでいかに壁まで投げられるか競ったのが印象深いです。(129) / 在学時はソフトボール部に所属しており、お昼休みには部員と共にキャッチボール練習を校庭でしていました。ある日ボールを友人が体育館のガラスにぶつけて割ってしまったことがありました。それを見た副校長先生が怒るのではなく“ナイスピッチ”と言っていたのが大変印象に残っています(129) / 昼休みや放課後、ソフトボール部は校庭で練習させていただいておりましたが、ボールの元気がよすぎて、体育館はいつも破損の危機にありました。大切な体育館にたくさんボールをぶつけてごめんない(129 母)

普連士学園主催「体育館・高 3 校舎お別れ感謝礼拝」

長年にわたり生徒と教職員を支えてきた体育館と高 3 校舎の建て替えにあたり、神さまに感謝を捧げる集いを開催します。懐かしい校舎を巡りながら思い出を分かち合い、未来へ想いをつなぐひとときをご一緒にできれば幸いです。

校長 青木 直人

高 3 校舎

(旧第二特別校舎)

起工式:1981(昭和56)年7月
献堂式:1982(昭和57)年4月
設計:大江宏建築事務所
施工:フジタ工業

た。当時は留学中の単位が日本では認められず帰国後 1 つ下の学年に入りました。その年の 9 月、復学した時に元の学年の同級生は高 3 校舎にいたので本校舎からいつも眺めてみんなのことを思っていました。懐かしいです。(93) / 集会室(現小体育館)は卒業式後の謝恩会会場でした。そこで初めて谷田貝先生の尺八を笑いを堪えながら皆で聞いた記憶があります。(95) / 中学生の頃、扇風機しかなかった中学校舎から見上げるエアコンが装備された高 3 校舎は憧れの存在だった。(95) / 高 3 校舎は、私達の時代には第二特別校舎、通称二特と呼ばれていました。当時は高 3 のお教室の上に音楽室があり、音楽の時には毎呼吸を切りながら駆け上がったり、駆け降りた記憶があります。高 3 になると、本校舎(現中学校舎)から 1 学年だけ離れたこの二特に移動したのですが、とにかく景色が良く、これぞ高 3 の特権! と思って、授業中もよく外を眺めていました(笑) 赤い屋根でお洒落なデザインの本校舎(中学校舎)の後ろに聳える東京タワーや、当時は四角柱のビルが多い中、格好良いデザインの NEC ビルをぼんやり眺めたり、慶應大学のキャンパスの屋上で定期的に行われていた応援団の練習を見ながら、彼らはこんな所から見られているなんて、知りもしないのだらうなど可笑しく思いつながら見ていた事などなど、とても懐かしく思い出されます。新しく建てられるお教室からも美しい景色が再び見られますように。(95) / 高 3 校舎のベランダにいる先輩方が大人に見え、憧れました。けど、いざ自分が高 3 になっても、全然大人じゃない! この差は何だ? って思っていました! (95) / 夏期講座にて浜野先生 29 歳の誕生日。先生の入室でスライドに祝詞を映し大拍手! 先生は「ありがとう! ただ…私 28 なんですよねエ」! 「そして…誕生日は明日なんですよねエ」謝罪と大爆笑の忘れがたい思い出です。(95) / 高 3 校舎の階段を上がり、教室に入ると、大きな窓から陽の光がよく入る教室があります。東京タワーもよく見えます。こちらが、高校 3 年生の教室です。校舎はこのような温かく素晴らしい環境を作ってくれました。(100) / 6 年間学園祭運営委員で、高 2 では運営委員長を務めたので、学園祭中の運営委員会の控室だった高 3 校舎の特別教室(2 階? 3 階?)の体育館側の小さい教室)や、合唱コンクール前に高 3 校舎 1 階のよく響くピアノの前でたくさん練習

ありがとう 体育館・高 3 校舎

教育環境の充実と施設拡充を目指した

「140 周年記念館」(2029 年度竣工予定) 建設のため、2027 年春、体育館と高 3 校舎(旧第二特別校舎)がその役目を終えることになりました。

私たち学園生を温かく受けとめ、

長きにわたり見守り続けた二つの建物への感謝を込めて、エピソードでその時代を綴ります。

生徒の時は高 3 校舎はまだなかったので思い出はほとんどありませんが、また時代に合わせた利便性とセンスを備えた校舎が皆さんをひきつけるといいと願っております。(77) / 1982 年に高 3 校舎が作られて最初に使用した学年です。もう 44 年前と大昔のことなので、赤レンガで新しくてこじんまりした印象とか、椅子が同じ木製でも本校舎とは木材が違うのか、片手で持ち上げられないくらい重く、硬くてぶつかると痛かったな—といったことくらいでしょうか。と言いたいところですが実は、高 3 校舎といえば忘れられない出来事があります。クリスマスが近づいた頃、美術が得意なクラスメイトが、白い大きな模造紙を持ってきて、それをクリスマスの鐘とリボンの形に切り抜いて、クラスの窓ガラス一面に貼ったんです。本校舎から白い鐘とリボンが綺麗に見えて、クリスマスらしくていいね—とクラスのみんなで喜んでいたら担任の先生が来て、「本校舎の生徒も同じように窓飾りを作りたいと言いだしてるから、剥がしてください」と言われました。みんな納得できなくて怒ってしまい、作った子も「自分は剥がしたくない、剥がすなら先生が剥がしてください!」と言い私たちも「そうだそうだ」と。仕方なく先生は 1 人で全部剥がしました。今でも何がダメだったのかわかりません。窓飾りくらいでダメ出しされない現代の生徒の皆さんにとっては驚きのエピソードです。(90) / 高 2 の時に交換留学で 1 年間渡米しました。当時は留学中の単位が日本では認められず帰国後 1 つ下の学年に入りました。その年の 9 月、復学した時に元の学年の同級生は高 3 校舎にいたので本校舎からいつも眺めてみんなのことを思っていました。懐かしいです。(93) / 集会室(現小体育館)は卒業式後の謝恩会会場でした。そこで初めて谷田貝先生の尺八を笑いを堪えながら皆で聞いた記憶があります。(95) / 中学生の頃、扇風機しかなかった中学校舎から見上げるエアコンが装備された高 3 校舎は憧れの存在だった。(95) / 高 3 校舎は、私達の時代には第二特別校舎、通称二特と呼ばれていました。当時は高 3 のお教室の上に音楽室があり、音楽の時には毎呼吸を切りながら駆け上がったり、駆け降りた記憶があります。高 3 になると、本校舎(現中学校舎)から 1 学年だけ離れたこの二特に移動したのですが、とにかく景色が良く、これぞ高 3 の特権! と思って、授業中もよく外を眺めていました(笑) 赤い屋根でお洒落なデザインの本校舎(中学校舎)の後ろに聳える東京タワーや、当時は四角柱のビルが多い中、格好良いデザインの NEC ビルをぼんやり眺めたり、慶應大学のキャンパスの屋上で定期的に行われていた応援団の練習を見ながら、彼らはこんな所から見られているなんて、知りもしないのだらうなど可笑しく思いつながら見ていた事などなど、とても懐かしく思い出されます。新しく建てられるお教室からも美しい景色が再び見られますように。(95) / 高 3 校舎のベランダにいる先輩方が大人に見え、憧れました。けど、いざ自分が高 3 になっても、全然大人じゃない! この差は何だ? って思っていました! (95) / 夏期講座にて浜野先生 29 歳の誕生日。先生の入室でスライドに祝詞を映し大拍手! 先生は「ありがとう! ただ…私 28 なんですよねエ」! 「そして…誕生日は明日なんですよねエ」謝罪と大爆笑の忘れがたい思い出です。(95) / 高 3 校舎の階段を上がり、教室に入ると、大きな窓から陽の光がよく入る教室があります。東京タワーもよく見えます。こちらが、高校 3 年生の教室です。校舎はこのような温かく素晴らしい環境を作ってくれました。(100) / 6 年間学園祭運営委員で、高 2 では運営委員長を務めたので、学園祭中の運営委員会の控室だった高 3 校舎の特別教室(2 階? 3 階?)の体育館側の小さい教室)や、合唱コンクール前に高 3 校舎 1 階のよく響くピアノの前でたくさん練習

したことも、よい思い出です。受験生だというのに友だちと話し

こんだ放課後や、今は亡き恩師や友人と過ごした日々の思い出が詰まった高 3 校舎。今も感謝の気持ちでいっぱいです。後輩のみなさんにとっても思

い出深い、新しい学び舎に生まれ変わることを、心より願っています。(106) / 二特では、宮武先生に「映像の 20 世紀」を観せていただいたり、推薦入試に向けて模擬面接をしていただいたこと、

庄司先生のコンピューターの授業が印象に残っています。(112)

2006 年本校舎(120 周年記念館) 献堂

“焼捨て山”の名称で親しまれた高 3 校舎、試験勉強の合間に教室のベランダから眺めた風景が忘れられません。(114) / 私が在学して

いた当時は、高校 3 年生のホームルームの教室がある建物で、生徒たちから“焼捨山”という愛称で呼ばれていました。高 1・高 2 を新しくてピカピカな高校校舎で過ごした後、最後の 1 年間は古

くて狭い建物に追いやられるということを自虐的にそう言っていました。でも実際には、音楽室や美術室に他学年が来る以外はずっと同級生だけの空間で、良い意味でなにも気にしないでいても居心地良い空間で、みんなに愛されていました。教室の前の広いスペースに置かれた大きな机で卓球をしている人たちもいました。それぞれが自分の進路と向き合って悩んだり緊張感が出てきた

中でも、自然体になれる特別な空気感があったかなと思います。(121) / 高 3 になり毎日のように本校舎と高 3 校舎を行き来するたび、最高学年になったと気が引き締まる思い、そして学園生活が 1 日 1 日終わってしまうという思いになったことを思い出します。(122) / 放課後にライトアップされた東京タワーを見ながら受験対策講座を受けたこと。小体育館で体育中にすずめが入って

きて、山本先生が頑張って逃がしてあげたこと。(123) / 職員室がとても遠かったな…。(笑) ただその分、先生とのキョリも絶妙で良かったなと今となっては思います。(123) / 高校 3 年の夏、受験勉強に追われる中、友人たちと“何か気分転換をしよう”と中学時代のリコーダーを持ち寄り

ました。勉強の合間に練習を重ね、学園祭の家族公開日の終盤に高 3 校舎のバルコニーで演奏を披露したことが今でも良い思い出です。(124) / 高 3 校舎の思い出は、ほぼほぼ遅刻寸前で階段を数人で爆走していた記憶ばかりです。学校の入り口から 1 番速い校舎だったので、遅刻ギリギリを攻めて登校する私のような人間にとって高 3 校舎は敵でした(笑) ですが学生時代最後を過ごした校舎なのでやはり思い入れも多く、選択授業が分かれて普段あまり関わらなくなった同期たちと、

体育祭のために教室前で横断幕を手分けして描きあったのも、放課後にだんだん暗くなっていく空とあったかいオレンジに輝く東京タワーを友人とただ眺めていた日も、美術室の独特な匂いの記憶

も、引退した部活の後輩たちが校庭から手を振ってくれたのも、大学受験を控えて不安で泣いたりした日も、卒業式の日に黒板に友人と「卒業おめでとう」と書いたことも、ふとした瞬間に思い出して懐かしくなります。新しくて明るくて快適だった高校校舎も好きだったけれど、過去の先輩たちが歴史を刻んでちょっと年季の入った高 3 校舎は妙に落ち着きが

あって居心地が良かったです。無くなるのはとても淋しいけれど、良いこと学生達の色々な複雑な感情を刻みながら変わらずそこに居場所としてあり続けてくれたことに、まずはあ

りがとうと言いたいです。(125) / 高 3 校舎の教室の場所が分からず迷子になり、職員室に聞き込みに行った中 3 の思い出があります。(128) / 夏休み期間、学園祭の装飾を美術室から中学校舎のクローゼットルームに移動する時に絵の具を知らず知らずのうちにこぼしており、当時のメンバーで雑巾をもって走り回りました。ついでに美術室をとってもキレイにして年齢関係なく、仲良くなれたのを懐かしく思います。(128) / 高 3 最後の体育祭がコロナ禍で校庭開催だったため、高 3 教室のベランダに応援の幕を飾り、密を避け交代

でベランダから観戦したのも良い思い出。小体育館が母の時代は集会室という名前だったことに衝撃を受けた。学園祭実行委員だったので、小体育館で食券の販売をしたのが大変だったけど楽しい思い出。(129) / 学園祭実行委員の展示物制作の際、夏休みの美術室で青いジャージをベンキダけにしながら、同期や先輩と取り組んだのをよく覚えています。青春の大切な 1 ページでした。4 人しかいない物理の放課後、補講を仲間と騒ぎながら「あ—でもないこ—でもない」と取り組んだのも、私の学問興味の、学問への向き合い方の

基盤になっています。人生の一部を作ってきた高 3 校舎にありがとうございましたと言いたいです。(129) / 毎日キツイ階段を朝登って、教室の友人たちの声のする方へ向かうと、不思議と憂うつな気持ちが減り、達成感がありました。(129) / 小体育館での部活動が一番の思い出です。入口に置かれていた竹刀入れとかつての先輩方が使われていた年季の入った竹刀が差し込まれているのを見ると、なつかしさを感じました。レンガ造りのために少し閉鎖的なイメージがありましたが、コロナ中の体育祭などの時、ベランダから校庭を

みんなで見たりすることもあり楽しかった思い出です(129) / 高 3 校舎の小体育館で毎週部活に参加していたことが 1 番思い出に残っています。私は剣道部だったので小体育館を武道場として使っていて、あの明るさと窓の格子が美しく、印象的でした。学校のなかで講堂に続き、2 番目に長く過ごした場所が取り壊されるということで寂しさはありますが、新しい校舎で後輩たちが気持ちよく稽古されることを願います。(129) / 高 3 校舎のベランダから見える景色が大好きでした。中学校舎・校庭・本校舎が見渡せて、その奥に東京タワーを見ることができて 6 年間の思い出が詰まっているような場所でした。今でもここから撮った写真を見て懐かしくなります。(130) / 高 3 になる前は高 3 校舎にうつるのいやだなと思っていましたが、実際に高 3 校舎で過ごしてみると勉強に集中できる良い環境だったなと思います。(131)



名称は室名札通りとしております(2026年6月現在)

□校友会バザーと同日開催です。ぜひ懐かしい校舎にお運びください。

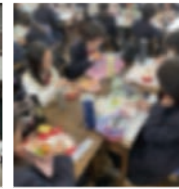
□エピソードは、校友会ホームページおよび校友会総会当日に会場にて募集、全てを掲載いたしました。大切な思い出のご投稿ありがとうございます。

普連土だより 学校近況

第186信

新入生133

名を迎え、新年度が始まりました。写真は中1



「食前感謝の歌」

の後の楽しい

昼食タイム、

体育祭にて



6学年からの

「三色対抗玉入れ」(会場…東京武道館)です。

学園が運営する卒業生ネットワークを作成しました。現在は、アルバイト登録やプログラム協力の依頼、教員からの情報発信誌『普連堂』の配信を行っています。(部外秘につき、関係者以外への共有はお控えください。)

新校舎建築に向けて特設ホームページを7月下旬に公開予定です。

【新任】

非常勤講師

数学科 高倉 由香

数学科 青木 馨子

数学科 佐藤 敏治

理科 山本 哲朗

【異動】

事務長代行から事務長へ

岩田 圭司

常勤講師から専任教諭へ

国語科 小柳 美羽

社会科 木島 詩織

理科 中田 愛理

英語科 中原 ゆい

常勤職員から専任職員へ

事務所 吉野 晃弘

【退職】

事務長

専任教諭

非常勤講師

数学科 大澤 真子

国語科 田中 滝絵

数学科 野崎 優

数学科 糸 輝雄

数学科 山内 優英

数学科 蒲田みどり

音楽科 生田 美子

技術家庭科 竹市 昌平

英語科 広田 善典

英語科 ビクターレイン

(教頭 松浦良知)

関西フレンド会報告

84回生 吉川 美保子

4月25日、新神戸駅近くの中華料理店「金寶来」にて、今年も関西フレンド会が開催されました。

東京より寺山・笹岡副会長にご参加頂き、75〜116回生まで計10名が集いました。

学年を越えて在校時の教職員の思い出話に花が咲き、それぞれの同期の方々の話題も出たり、校舎の造りを思い出したり、一気に数十年前の記憶が甦りました。

また、在校生の活躍や留學生の状況に驚きと期待を持たせて頂く等、楽しいひと時でした。

食後はロープウェイに乗り、六甲山系上のハープ園へ。

眼下に神戸の街と大阪湾を望む景色や様々な植物に眼も心も癒されました。

神戸に住んでいながら、なかなか訪れる機会の無い場所を訪れ、思いがけず神



戸観光を楽しむ事が出来、このような時間を持てた事に感謝する一日となりました。

毎年ご案内を頂き乍ら都合が付かず、昨年より二回目の参加ですが、初めてお目に掛かる方とでも共通の話題で会話が出来ると言う不思議な空間だと感じています。

普連土学園の存在が、良くも悪くも(身に付いた物、否定した物を含め)私達の人間性に影響を与えられているなど感じさせられました。

もしご参加を躊躇されている方がいらつしやいましたら、一度ぜひご参加されてみては如何でしょうか。普連土学園を再認識・再発見されるかもしれません。



校友会だより

— 今後の行事予定 —

◆ 校友会バザー

日時…11月22日(日) 11～14時
会場…ローズホール他

◆ 校友会クリスマス礼拝

日時…12月5日(土) 11～12時
会場…A音楽室

礼拝後にローズ
ホールで懇親会を開
きます。



◆ ミニ講座

「命に寄り添う口腔ケア Part1
— オーラルフレイルから

オーラルヘルスへ—

講師…修士(医療福祉)・日本摂
食嚥下リハビリテーショ
ン学会認定士 歯科衛生
士・介護口腔ケア推進士
山田 あつみ (77回生)

日時…10月17日(土) 13時
会場…中学校舎第一会議室(予定)
バザー・クリスマス礼拝・ミニ
講座は何れも申し込み不要です。
皆様のご来場をお待ちしています。

◆ 校友会特別講座

学園夏の教養講座とコラボ企画
「知ればますます面白い！」
ひと味違う歌舞伎の世界」

登壇者…歌舞伎俳優
尾上 緑

聞き手…ナレーター・イラスト
レーター

石原 美帆子 (95回生)

日時…8月18日(火) 11時
会場…ローズホール

参加費…無料

在校生と校友生が参加可能で
す。参加ご希望の方は校友会事務
局までご連絡ください。

◆ ホームカミング

2027年2月27日(土)、89・
90・91回生を対象にホームカミン
グを開催予定です。幹事を募集い
たします。ご協力いただける方は
校友会事務局までご連絡ください。
最新情報は校友会ホームページ「お知
らせ」に掲載します。

◆ 校友会事務局からのお知らせ

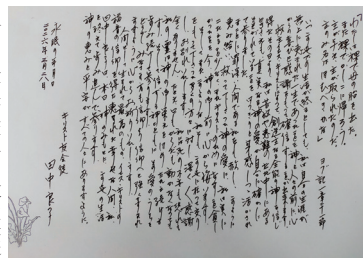
7月21日(火)～8月31日(月)
住所、姓名等変更の場合は、校友会
事務局までご連絡ください。

田中良子先生を偲ぶ



2026年
3月28日、満
開の桜を儼に
残し田中良子
先生(62回生)

が89歳で天に召されました。長年
聖書科の教員として学園にご尽力
され、その凛としたお姿は多くの
校友生の心に残っています。ここ
に謹んで哀悼の意を表します。



(田中良子先生写真・史料室提供)

田中良子先生から皆さまへのお手紙
(ホームページ校友会報115号からお読みください)

訃報

謹んでお知らせ申し上げます。
哀悼の意を表します。

42 関名壽恵子(角谷)
44 沼田 三千(池上)
45 志鎌 敏子
47 金子九十九(山本)
49 柴沼 晶子(梅里)
51 吉田 昭子(丸山)
55 伊藤 昭子(横山)

編集後記

今号の計報欄には100歳を超え
る校友生が5名。最年長(107歳11
か月)の関名様のご家族より「ま
だ戦争の足音の聞こえない平和
な時代にミス・ローズから様々な
教えを受けたことを感謝していま
した」とのお便りを頂きました。
(森本・富山・佐藤・石原・神田・
白樫・白井・大江)

運営費納入のお願い

2,500円が校友会を支えています

納入方法 (いずれかを選択)

同封の払込取扱票で

①郵便局またはコンビニから払込み

②記載のバーコードでスマホ決済

75 72 66 62 60 59 58 58 52
校友会より、お花のギフト券とお悔
やみのカードをお送りしました。

A 阿部 光代 (岩瀬)
58 廣田 卿子 (堀口)
58 木村美枝子 (依田)
59 松本こま子
59 奥田百合子 (安達)
60 井上幾久世 (小坂)
62 田中 良子
66 高橋 邦恵 (多並)
72 平瀬千恵子 (蓮)
75 黒田 宣子 (須田)

26 26 25 26 25 26 25 25 25
3 3 8 3 6 2 12 9 11
29 18 28 4 11 21 8 3



発行：普連土学園校友会 〒108-0073 東京都港区三田 4-14-16

TEL: 03-3451-7700 FAX: 03-3451-1959 [題字：高橋 よね (20回生)]

URL: <https://www.friends-koyukai.com> E-mail: friends@f-koyukai.com

◀校友会ホームページ (Qお知らせ・同好会のご案内・校友会報など)

校友会事務局宛メール▶

